



麻疹の流行が話題になっていますが、麻疹についてご存じですか？

麻疹とは・・・

麻疹ウイルスによる感染症で、感染経路は空気感染

・飛沫感染・接触感染とさまざまです。潜伏期間は8～12日間。麻疹の症状は3つの期間にわけて考えられています。

カタル期

発症すると、発熱(39℃程度の高熱となることが多い)に、咳、鼻汁、結膜充血、眼脂(目やにのこと)といった症状を伴います。発熱2～3日目で頬粘膜にコプリック(Koplik)斑が出現します。この時期をカタル期といい、カタル期は3～4日間続いた後、いったん解熱します。他者への感染力は、カタル期に最も強いと言われています。

発疹期

カタル期の後にいったん解熱しますが、半日ほどで再び39～40℃の高熱が出て、発疹が出現します。発疹は体幹や顔面から目立ち始め、後に四肢の末梢にまで及んできます。発疹は鮮紅色で、やや隆起しています。

発熱・発疹のほか、咳・鼻汁もいっそう強くなり、下痢を伴うことも多いのが特徴です。口腔粘膜が荒れて痛みを伴うこともあります。これらの症状と高熱に伴う全身倦怠感のため、経口摂取は不良となり、特に乳幼児では脱水になりやすくなります。

発疹期は発疹出現後72時間程度持続します。これ以上長い発熱が続く場合には、細菌による二次感染の疑いがあります。

回復期

解熱後も咳は強く残ることがありますが、徐々に改善していきます。発疹は退色後、色素沈着を残すものの、5～6日程で皮がむけるように取れるとも報告されています。回復期2日目ごろまでは感染力が残っているため、[学校保健法](#)により解熱後3日を経過するまでは出席停止の措置がとられています。

治療

特異的治療法はなく、解熱剤、鎮咳去痰薬、輸液や酸素投与などの支持療法を行います。

予防接種

1回目・・・月齢12～23ヶ月

2回目・・・小学校入学前の1年間

2回目の麻疹・風疹混合ワクチンの接種を受けることができる者は、[1回目の接種を混合ワクチンで受けた者](#)、と規定されていますが、1回目を麻疹ワクチン、風疹ワクチン別個に受けている方は、[2006年6月2日](#)の予防接種法施行令の再度改正により、2期の対象に加わっています。忘れずに接種しましょう。

その他の方は、任意接種としてMRワクチン、麻しん単抗原ワクチンのいずれも接種可能です。成人も、任意接種となりますが、小児と同様に接種して構いません。副反応、抗体獲得率なども小児と同程度と考えられます。

